

	岐阜大学 農学分野
学部等の教育研究 組織の名称	<p>応用生物科学部（第1年次:190 第3年次:10） 大学院応用生物科学研究科（M:89） 大学院連合獣医学研究科（D:20） 大学院連合農学研究科（D:20）</p>
沿 革	<p>大正12（1923）年 岐阜高等農林学校設置 昭和24（1949）年 新制岐阜大学農学部設置 昭和41（1966）年 大学院農学研究科設置 平成16（2004）年 応用生物科学部設置（改組） 平成20（2008）年 大学院応用生物科学研究科設置（改組） 平成2（1990）年 大学院連合獣医学研究科設置 平成3（1991）年 大学院連合農学研究科設置</p>
設置目的等	<p>岐阜大学応用生物科学部・応用生物科学研究科の母体である岐阜高等農林学校は、農業専門学校として大正12年に設置された。</p> <p>新制国立大学の発足時には、岐阜農林専門学校（旧岐阜高等農林学校）を包括して岐阜大学農学部（昭和24年）として継承され、平成16年に応用生物科学部に改組された。</p> <p>昭和41年に、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的に大学院農学研究科が設置され、平成20年に大学院応用生物科学研究科に改組した。</p> <p>平成2年、獣医学課程あるいは獣医学科を有する帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学及び岐阜大学が連携協力して設置する標準修業年限4年の大学院博士課程で、獣医学に関する高度な専門知識と優れた応用能力を生かして、独創的かつ先駆的な研究を遂行しうる研究者及び社会の多様な方面で活躍できる高度技術者を養成し、獣医学及び関連諸科学の発展と社会の進展に寄与することを目的に大学院連合獣医学研究科が設置された。</p> <p>平成3年、岐阜大学、信州大学及び静岡大学の各大学の農学研究科が有機的に連合することによって、特徴のある教育・研究組織を編成し、生物（動物、植物、微生物）生産、生物環境及び生物資源に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野をもった研究者及び専門技術者を養成し、農学の進歩と生物資源関連産業の発展に寄与することを目的に大学院連合農学研究科が設置された。</p>

強みや特色、
社会的な役割

岐阜大学は「学び、究め、貢献する、教育に軸足を置いた教育・研究大学」を理念とし、大正12年の岐阜高等農林学校設立以来、岐阜県をはじめとする東海地域の食の安全、食の安定、環境の保全、健康の増進、公衆衛生の向上の分野で活躍できる高度専門職業人の育成を目的として教育、研究、社会貢献に取り組んでおり、以下の強みや特色、社会的役割を有している。

- 生物生産を柱とする農学から、生物産業のイノベーションを柱とする応用生物学へと展開を図り、生物・生命科学の成果を活用し、人類の幸福、とりわけ人類の持続的生存と生活環境の向上に貢献する人材を養成する。学士課程では、「食の安全と安定供給」、「自然や生活環境の修復と保全」、「高機能食品の開発と健康の増進」に関わる知識・技術を有するジェネラリストを、修士課程では、研究活動をとおして、高度な専門職業人育成の役割を果たす。博士課程においては生命科学、生物資源科学、環境科学、生活科学、社会科学、獣医学などの分野において、高度な研究能力と問題解決力を有し、グローバル化に対応した高い倫理観をもってリーダーシップを発揮できる高度な専門技術者・研究者育成の役割を果たす。
- 凜乎真摯と自化自育の精神を育み、学生が身につける科学的な思考能力と応用生物学に関する高度な技術と知識を体系化したコア・カリキュラムを設定し、教育の質保証を図る。学士課程では少人数教育やフィールド型実習を導入して生物学の基盤的知識と技術の習得を図り、研究科では高度な専門職業人の育成を目指して教育内容の不断の改善・充実を図る。
- 糖鎖科学における世界トップクラスの高い研究をはじめとする生命科学と環境科学の特色ある研究を推進し、岐阜県をはじめとする周辺地域や我が国の応用生物学の発展に寄与する。
- 岐阜県をはじめとする関係自治体との農学教育及び研究連携のもと、野生動物管理、動物医療、農林水産業への研究支援活動、公民館大学等による地域連携教育の推進、岐阜大学ブランドを活用した地域貢献活動など、地域社会に貢献してきた豊富な実績を生かし、周辺地域の農林水産業、食品産業の振興に寄与する。
- 中国、東南アジア、南アジア諸国における大学教育貢献実績を生かし、南部アジア地域の大学との教育コンソーシアム形成をはじめとして、国際展開を進める。

- | | |
|--|---|
| | <p>○ 岐阜県食品安全管理エキスパート養成事業、開業獣医師や生産農家へのセミナーの実施、各種の市民講座の開講、大学院への社会人受け入れなどの実績を生かし、社会人学び直しを推進し、地域の農林水産業、食品産業の発展に資する。</p> |
|--|---|